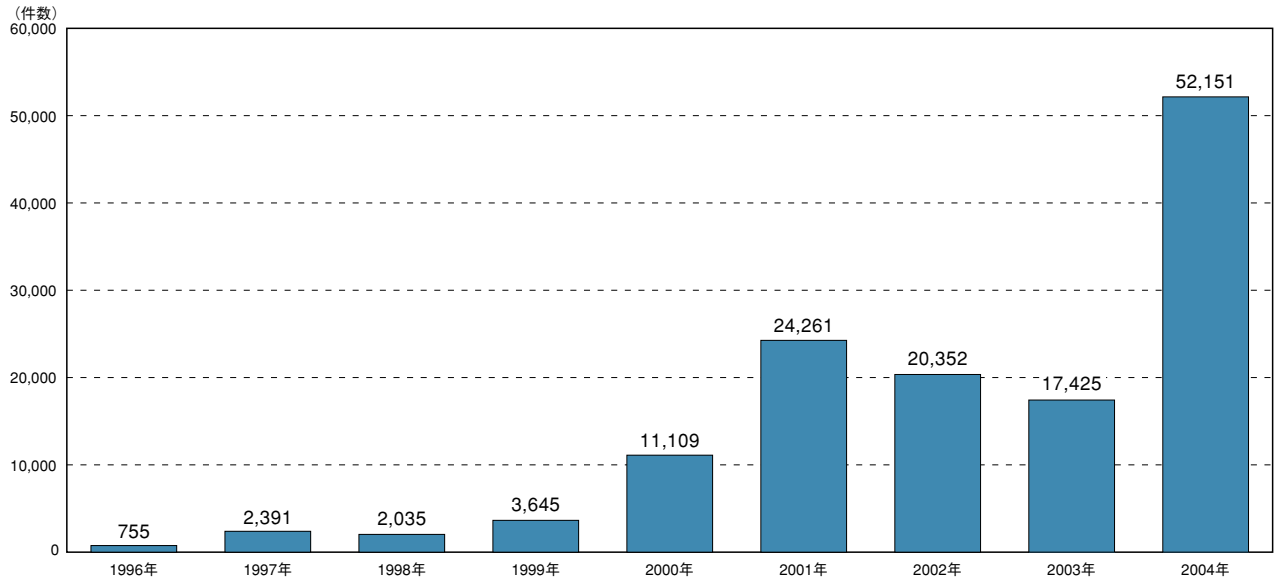


コンピュータウイルス

届出数は実数、前年比とも過去最悪、感染数は1%にとどまる

資料6-3-5 コンピュータウイルスの届出状況



届出件数の実数（52,151件）はもちろん、前年比（約3倍）も過去最大のものとなっている。Netskyなど複数の亜種が出現したことが主な要因と考えられる。他方で、実際に感染した数は1%にとどまっており、ウイルス対策の浸透やワクチン作成の迅速化がうかがえる。これは、前年に猛威をふるったMSBlasterなどの経験から、対策の必要性が痛感されたためと考えられる。

出所 IPA「2004年ウイルス届出状況」2005年1月【1届出件数】

セキュリティホール利用の添付ファイル付メール送信型が多数

資料6-3-6 コンピュータウイルスの種別

ウイルス名称	2004年	2003年	メール機能悪用	セキュリティホール悪用
W32/Netsky	15,895		●	●
W32/Bagle	4,838		●	●
W32/Mydoom	4,388		●	●
W32/Klez	3,498	4,538	●	●
W32/Lovgate	2,569	165	●	●
W32/Swen	1,776	1,673	●	●
W32/Bugbear	1,727	1,602	●	●
W32/Mimail	1,629	883	●	●
W32/Zafi	1,557	—	●	●
VBS/Redlof	1,162	803	●	●
その他のウイルス	13,112	7,761		
合計	52,151	17,425		

出所 IPA「2004年ウイルス届出状況」2005年1月【2届出ウイルス】

メールソフトの機能（HTMLメールの場合に自動的に添付ファイルを実行するなど）を悪用したウイルスが大多数を占める。これはセキュリティホールでもあるため、双方に該当している。NetskyやBagleなどは、感染者のパソコンからのメール送信によって拡散し、受信者のメールソフトの機能によって同様に感染するため、広範囲に広がっている。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp